

(別紙)

一般社団法人ぎふクリーン農業研究センター

平成25年度事業報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

I 法人の概況

1 設立年月日

平成16年8月16日

2 定款に定める目的（第3条）

岐阜県産農畜産物の安全性の確保、安心感の向上及び県民の健康増進に関し必要な検査、調査、研究及び啓発を行い、もって県内農畜産業の健全な発展に寄与する。

3 定款に定める事業内容（第4条）

- (1) 残留農薬分析、土壌分析、米食味分析その他分析検査事業
- (2) 健康増進に関わる農畜産物の研究開発事業
- (3) 岐阜県産農畜産物の情報提供、普及啓発事業
- (4) その他目的を達成するために必要な事業

4 所管官庁に関する事項

岐阜県（農政部農政課）

5 会員の状況

種類	区分	当期末	前期末比較増減
正会員	団体	11団体	—
賛助会員	団体	5団体	—
	個人	—	—
合計	団体	16団体	—
	個人	—	—

6 事務所所在地

岐阜市宇佐南4丁目11番5号

7 役員等に関する事項

(平成26年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	現職
理事長	山内 清久	非常勤	学識経験者
理事	櫻井 宏	非常勤	ぎふ農業協同組合代表理事組合長
理事	駒屋 廣行	非常勤	飛騨農業協同組合代表理事組合長
理事	足立 能夫	非常勤	全国農業協同組合連合会岐阜県本部運営委員会会長
理事	平工 孝義	非常勤	岐阜県農政部長
理事	前澤 重禮	非常勤	国立大学法人岐阜大学応用生物科学部教授
監事	岡田 忠敏	非常勤	岐阜県農業協同組合中央会会長
監事	桑田 博之	非常勤	全国農業協同組合連合会岐阜県本部長

- ・理事：現在数6人（定款第12条第1項第1号による定数は4人以上10人以内）
- ・監事：現在数2人（定款第12条第1項第2号による定数は2人以内）
- ・任期：2年（平成25年6月28日～平成27年6月の通常総会終結時）

8 職員等に関する事項

(平成26年3月31日現在)

職員の区分	人数	備 考
職 員	7名	管理部門2名、事業部門5名
嘱 託 員	1名	
臨時職員	1名	
計	7名	

9 許認可に関する事項

該当無し

II 事業の状況

1 農産物の安全性確保及び品質向上に関する業務

(1) 残留農薬分析業務

ア 多成分一斉分析（スクリーニング分析）

(ア) 分析件数

J Aグループの自主検査対応を主体とする会員からの受託についてはほぼ順調であり、特に園芸作物は計画及び前年実績を上回った。

区 分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
穀 類	115件	135件	117.4%	135件	100.0%
会 員	110件	130件	118.2%	132件	98.5%
一 般	5件	5件	100.0%	3件	166.7%
園芸作物	705件	733件	104.0%	698件	105.0%
会 員	700件	728件	104.0%	694件	104.9%
一 般	5件	5件	100.0%	4件	125.0%
合 計	820件	868件	105.9%	833件	104.2%
会 員	810件	858件	105.9%	826件	103.9%
一 般	10件	10件	100.0%	7件	142.9%

(イ) 分析品目数

75品目の分析を行った。(うち4品目は新規品目)

現在117品目の分析が可能である。

分析件数	品 目 名
50件以上	玄米、トマト、ほうれんそう (3品目)
10～49件	苺、かき、茶、なす、きゅうり、ねぎ、小松菜、枝豆、だいこん(根)、小麦、たまねぎ、人参(根)、さといも、かぶ(根)、みずな (15品目)
10件未満	かぼちゃ、日本なし、さつまいも、キャベツ、しゅんぎく、伏見甘長とうがらし、じゃがいも、ピーマン、未成熟さげ、なばな、ブロッコリー、白菜、未成熟そら豆、未成熟いんげん、栗、しいたけ、モロヘイヤ、大麦、ぶどう、みかん、もも、いちじく、メロン、サンショウ(実)、ふき、チンゲン菜、やまのいも、にがうり、とうもろこし、グリーンピース、さやえんどう、にんにく、パセリ、ミョウガ、あおうり類、オクラ、だいこん(葉)、レタス、シソの葉、はこべ、エゴマ(種子)、ズッキーニ、ショウガ、りんご、西洋なし、ゆず、カリフラワー、すもも類、タアサイ、籾米(飼料用)、スナックエンドウ、だいず、わけぎ、えんさい、パプリカ、ヤーコン、グレープフルーツ (57品目)

(ウ) 分析結果

前年実績に比べ検出値報告事例が減少した。(前年実績89件(10.7%))

区 分	全 体	内 訳	
		検出あり	検出なし
分析試料数	868件 (100%)	83件 (9.6%)	785件 (90.4%)
報告成分数	232,833成分 (100%)	99成分 (0.04%)	232,734成分 (99.9%)

イ 単成分分析

スクリーニング分析の検出値報告件数の減少とともに、単成分分析も計画及び前年実績を下回った。

区 分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
穀 類	30 件	26 件	86.7 %	38 件	68.4 %
園芸作物	43 件	30 件	69.8 %	53 件	56.6 %
その他	27 件	29 件	107.4 %	33 件	87.9 %
合 計	100 件	85 件	85.0 %	124 件	68.5 %

(2) かび毒分析業務

粳米(飼料用)のみの受託であった。

区 分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
小麦他	10 件	6 件	60.0 %	8 件	75.0 %

(3) 土壌分析業務

水稻をはじめとする穀類を対象とした分析は計画及び前年実績を下回り、園芸品目を対象とした分析は、計画及び前年実績ともに大幅に上回った。

定点調査については、計画及び前年実績をやや上回った。

区 分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
穀類対象 3項目	105 件	97 件	92.4 %	136 件	71.3 %
園芸対象 7項目	575 件	880 件	153.0 %	748 件	117.6 %
合 計	680 件	977 件	143.7 %	884 件	110.5 %
定点調査	70 件	76 件	108.6 %	69 件	110.1 %

(4) 米食味分析業務

一般からの依頼が増え、例年を上回る受託が得られた。

区 分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
玄 米	300 件	330 件	110.0 %	303 件	108.9 %

(5) その他分析業務

玄米のDNA及びカドミウム分析については、アウトソーシングにより実施しており、ほぼ前年並みの実績であった。

区 分	年間計画 (A)	年間実績 (B)	計画比 (B/A)	前年実績 (C)	前年比 (B/C)
DNA	95 件	106 件	111.6 %	111 件	95.5 %
カドミウム	95 件	100 件	105.3 %	97 件	103.1 %

2 農畜産物の認定、認証及び調査に関する業務

○特別栽培米生産管理工程確認の評価業務

前年度に引き続き、ぎふ特別栽培米取扱要領に基づく生産管理工程の確認業務について、全農岐阜県本部より諮問を受け、その評価業務を実施した。

<評価業務内訳>

評価日	評 価 対 象 工 程
25. 07. 30	平成25年産米変更申請書承認工程
25. 11. 07	平成25年産米栽培記録検証工程
25. 12. 18	平成25年産米(晩生品種)栽培記録検証工程
26. 01. 24	平成25年産米精米・玄米袋表示原簿作成工程
26. 03. 29	平成26年産米確認申請書承認工程

3 健康増進に関わる農産物及び食品の開発・研究等に関する業務

○健康こだわり農産物検証事業

・地域固有農産物に関する機能性研究

これまで実施してきた本県産農産物の機能性に関する研究の総括を目的として、「十六ささげ」「飛騨紅かぶ」の最終調査を行った。また、来年度以降の研究のため、「飛騨ほうれんそう」の出荷予測システムに関する調査研究を実施した。

【研究委託先】 岐阜大学

<調査研究結果の概要>

①「十六ささげ」について

以前の研究で機能性成分が顕在化されたが、地域農業における位置づけの低下から機能性研究の成果に基づく生産量の拡大は見込めないものの、今後、飛騨・美濃伝統野菜の一品目として地域食文化の伝統継承への貢献が期待される。

②「飛騨紅かぶ」について

機能性成分の含有が指摘された「葉部」は、漬け物食材としては利用されず、機能性を全面に出した生産拡大策や販売戦略の構築が見込めない。紅かぶの現実的課題は連作障害の回避であり、機能性研究のレベルでは業者へのアピールが困難である。

※上記のとおり、これまでの機能性研究の成果に対する食品加工業界の反応が芳しくないことから、機能性研究に一応の区切りを付け、今後の研究方針を探るため、生産者に軸足を置いた研究への取り組みを開始した。

③「飛騨ほうれんそう」の出荷予測システムについて

上記に関する調査研究を行ったところ、産地段階における出荷予測精度の向上が市場販売における信頼性を向上させ、ブランド化と有利販売につながる可能性を示すことができた。

4 岐阜県産農産物の情報提供・啓発に関する業務

(1) 普及啓発業務

県内外からの視察研修の受け入れを行い、センターの活動を中心とした県内産農産物の安全性の確保・安心感の向上に向けた取り組みについて普及啓発を行った。

区 分	県 内		県 外	
	件 数	人 数	件 数	人 数
生産者関係	1 件	3 2 名	件	名
行政関係	1 件	2 名	件	名
J A 関係	1 件	1 2 名	2 件	4 名
そ の 他	1 件	3 0 名	件	名
計	4 件	7 6 名	2 件	4 名

(2) 情報提供業務

会員及び関係機関や県内生産者を対象に、一般消費者等も視野において、当センターを有効に活用していただくことを目的として、業務の紹介、ぎふクリーン農業に関する情報、経営状況等をインターネットのホームページ上で公開しており、常に最新の情報を提供するとともに、窓口にも資料を備え置いて利用者サービスの向上に努めた。

5 会議に関する事項

(1) 総会の開催

ア 第26回通常総会

- (ア) 開催日：平成25年6月28日（金）
- (イ) 開催場所：JA会館2階 大会議室
- (ウ) 議 事：平成24年度事業報告・収支決算、平成25年度補正予算
任期満了に伴う役員を選任
理事（重任）山内 清久 学識経験者
理事（重任）櫻井 宏 ぎふ農協代表理事組合長
理事（重任）駒屋 廣行 飛騨農協代表理事組合長
理事（新任）足立 能夫 全農岐阜県本部運営委員会会長
理事（重任）平工 孝義 岐阜県農政部長
理事（重任）前澤 重禮 岐阜大学応用生物科学部教授
監事（重任）岡田 忠敏 岐阜県農協中央会会長
監事（新任）桑田 博之 全農岐阜県本部県本部長

イ 第27回臨時総会

- (ア) 開催日：平成26年3月13日（木）
- (イ) 開催場所：JA会館4階 全農岐阜県本部役員会議室
- (ウ) 議 事：平成26年度事業計画、会員別負担金、役員報酬、収支予算、平成25年度事業実施見込み

(2) 理事会の開催

ア 第1回理事会

- (ア) 開催日：平成25年6月12日（水）
- (イ) 開催場所：JA会館6階 中央会役員会議室
- (ウ) 議 事：平成24年度事業報告・収支決算、平成25年度補正予算、諸規程の改正、第26回通常総会の開催

イ 第2回理事会（決議の省略）

- (ア) 決議日：平成25年7月1日（月）
- (イ) 開催方法：定款第33条の規定に基づくみなし理事会
- (ウ) 議 事：理事長の選定
理事長 山内 清久 学識経験者

ウ 第3回理事会

- (ア) 開催日：平成26年2月17日（月）
- (イ) 開催場所：JA会館6階 中央会役員会議室
- (ウ) 議 事：平成26年度事業計画、会員別負担金、役員報酬、収支予算、第27回臨時総会の開催
平成25年度事業実施見込み